平成30年度　高生中学校通信
11月号

平成３０年11月27日

輝け！高生中

文責　校長　和田義則

1、優しい心を育む年長者ふれあい交歓会（牧山東市民センター）　家庭部　　11月10日

年長者ふれあい交歓会では、家庭部の生徒が年長者の方との会食や校歌披露、手作りのコースターのプレゼントなどを行いました。
終了後、ある年長者の方が、涙を浮かべながら「今日は本当にうれしかった。たくさん元気をいただいた。」と言われました。
生徒とおしゃべりをした時やプレゼントを受け取った時、校歌を聴いた時は、年長者の皆さんは優しい笑顔でした。その笑顔にはどんな思いがあったでしょうか。家庭部の生徒は、たくさんの年長者の方に心が温かくなる元気をプレゼントしたと思います。とても大切な時間だったと思います。
さらに、昼食のお弁当がらや会場の片づけまで積極的に行い、地域の方もとても感心されていました。家庭部の皆さん、本当にありがとうございました。

生徒の感想

今回のふれあい交歓会では、年長者の方に喜んでもらえるように家庭部全員で作ったクロスステッチのコースターをプレゼントしたり、校歌を歌ったりしました。１年生はこの会に参加するのが初めてで何を話していいか分からなかったようですが、年長者の方が優しく話しかけてくれたので、最後にはみんな笑顔で話すことができました。
又、私がこの交歓会で一番うれしかったことは、ある年長者の方に「去年もらった羊毛フェルトを大事に仏壇に飾っとるよ。」と言ってもらえたことです。
家庭部には大会がないので、文化発表会でしか作品を見てもらえませんが、自分たちの作った作品を見たり喜んでもらったりすることのうれしさを実感することができました。
そして今回のふれあい交歓会を通して、生きることの大切さと、何かをつくることの楽しさ、そしてそれを使ってもらえることのうれしさを学びました。家庭部の活動をよりよいものにしていきたいと思います。

2、受け継がれる心に響く合唱　平成30年度　文化発表会　11月3日

体育館に各学年の学年合唱が響き渡りました。1年生は明るく元気よい歌声、2年生は一生懸命な歌声、そして3年生は、力強い豊かな合唱でした。3年生は勉強や部活等をやり遂げてきた最上級生としての3年間の成長があり、その成長が素晴らしい合唱に磨きをかけてくれます。だから、1･2年生は3年生の合唱に圧倒され、感動するのです。
文化発表会は、合唱を含め、ダンス等のオープニング等の生徒会生徒や、展示では教科や部活生徒など、生徒と先生方の全ての努力が発表されました。その努力の過程で学んだことや達成感が、生徒をそして学校全体を前進させると思います。

生徒感想

生徒会の方々が遅くまで残って作ってくれたオープニング、エンディングが私の緊張をほぐしてくれた。ひきつっていた顔もいつのまにか笑顔に変わっていた。展示作品を見た時も、一つ一つの作品にいろいろな努力、感情が伝わってきた。
やっぱり心に残ったのは3年の合唱だ。私は「2、3年生を超える。」という思いが心のどこかにあったのだが、それは無理だと歌を聴いて思った。あんなに素晴らしく、体育館のすみからすみへと響き渡っていたのだから。授業中に耳をすり抜けていくはずの声が、3年生の歌声は私の頭に刻みこまれていった。来年は素晴らしい文化発表会を次に入学してくる1年生に届けたい。

私はこの文化発表会を通して、みんなで協力して一つのものつくりあげることの大切さを学びました。練習が一日一日過ぎていくごとに、各パートを歌うのが上手になっていてハーモニーもきれいになっていくことが分かりました。本気で歌うことの楽しさを身を持って実感しました。
「手紙」は道徳の時間に制作秘話や込められた思いについて学びました。すると心を込めて歌うことができるようになりました。
文化発表会後、後輩から3年生の合唱がとても上手だったと誉められてとてもうれしかったです。連合音楽会では、どの学校にも負けないよう気を抜かずに頑張りたいです。

今年の文化発表会は、まちがいなく思い出に残るだろう。合唱は、1･2年生が予想以上に上手で感動した。1年生は私たちの時とは違い、大きな声が出ていてびっくりした。2年生はとても歌詞が伝わってきて思わず目がうるんでしまった。2年生は3年生になった時、きっと私たちよりも良い合唱ができると思った。
「手紙」を歌っているときに、右で歌っている人の泣く声が聞こえてもらい泣きしてしまった。この時私は、1･2年生の時の合唱や制作を思い出した。今まで2年間の文化発表会の苦労したこと等を思い出して涙が出てしまい、強く歌う部分も歌えなかった。